

# 新入社員 おすすめグルメ紹介

ドボク管理に入社した新入社員のおすすめグルメを紹介。今回は北見市内の「GREEN CAFE」様、「いなだ屋」様についての紹介です。

## 「GREEN CAFE」

店長イチオシのテイクアウト商品

## 北見市



## 彩日替わり弁当

『彩日替わり弁当』は1ヶ月の間、毎日違うお弁当を楽しめるそうです。取材時のお弁当は彩豊かをコンセプトに、ピーツや紫芋、エディブルフラワーという食用花など、店長さんが好きなピンクや紫の食材を使用した、お弁当です。中には、からあげやエビフライ、春巻きやチーズケーキなど様々な食材が入っており、おかずの下にはお米が敷き詰められているため、とてもボリューム満点です。見た目の色鮮やかさと、料理1つ1つに工夫がされており、見た目と味の両方を楽しめるお弁当でした。

(北見本社:新入社員)

## GREEN CAFE

北見市北斗町2丁目5-15  
TEL.0157-57-5261  
営業時間/11:00~21:00  
不定休



## そば処いなだ屋さんの店



北見市端野町三区464-11  
TEL.0157-56-2110  
営業時間/11:00~20:00  
木曜日/11:00~15:00  
定休日/毎週月曜日  
(祝日の場合翌平日)

北見駅から端野方向へ車で10分ほどの場所にある蕎麦屋さんです。

店内は落ち着いた雰囲気でした。

今回は一番人気の『上蛸天ざるそば』を紹介します。「蛸天」はふだんに3本、他にもいか・なす・かぼちゃ・春菊の5種類の天ぷらが入っており、ボリューム満点でとても美味しかったです。店内でそばを打ち、季節によってそばの太さを変えて仕上げたり、天ぷらをサクサクに揚げることにこだわっているとのことでした。

今回は夏が近いということもあり、ざるそばのご紹介でしたが、冬になると『なべ焼きうどん』も人気商品のようにです。お持ち帰りも可能で『かつ丼・天丼・豚丼・ざるそば』と種類も豊富です。(北見本社:新入社員)



ドボク管理  
WEB SITE



建設コンサルタント業・測量業・補償コンサルタント業  
ISO 9001 : 2015 認証登録



## 株式会社ドボク管理

本社 ● 千090-0837 北見市中央三輪8丁目16番地7 TEL.0157-36-2233 FAX.0157-36-2220  
札幌支店 ● 千001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号 TEL.011-708-0708 FAX.011-708-7700  
旭川支店 ● 千070-0831 旭川市旭町1条13丁目688番144 TEL.0166-54-7270 FAX.0166-51-1363  
網走出張所 ● 千093-0076 網走市北6条西3丁目3番地 TEL.0152-43-4150 FAX.0152-43-4160



地域情報誌  
発行(株)ドボク管理  
2006年7月15日創刊  
年3回発行

<http://www.dobokukanri.co.jp/>



NO.55  
2024.6.15

無人販売所

ドボク管理  
写真コンクールで入選

特集 地域の豊かな資源  
無人野菜販売所

株式会社ドボク管理



# 北海道測量設計業協会 フォトコンテスト2023

※当社からも入選者ができました。

一般社団法人北海道測量設計業協会の主催する「フォトコンテスト 2023」の受賞作品が発表され、グランプリ、金賞、銀賞、銅賞、会長賞、特別賞、奨励賞の各賞のうち、銅賞以上の作品が協会ホームページに掲載されました。

今回のテーマは、企業で働く素晴らしさ、大切さの普及啓発に役立つ「働く人の姿」の作品ということで、募集内容については、応募者本人が撮影し、著作権等の権利のすべてが応募時点で応募者に帰属する作品に限ること。肖像権や著作権等、他人が権利を有するものを利用した作品については、事前に使用許諾承認を得ること。テーマに沿った写真とすること、ということでした。

当社社員が仕事の折々に撮った写真を応募した結果、銀賞一点、銅賞一点を受賞いたしました。誠にありがとうございました。



北測協フォト  
コンテスト  
2023

締切 2023年12月31日(日) 必着

テーマ  
企業企業において、企業で働く素晴らしさ、大切さの普及啓発に役立つ「働く人の姿」の作品

賞品  
グランプリ(1点) 賞金5万円  
金賞(3点) 賞金3万円  
銀賞(5点) 賞金2万円 銅賞(10点) 賞金1万円  
会長賞(1点)、特別賞(1点)、奨励賞(2万円、応募者必ず内付)  
記録簿(2023) 1冊プレゼント

## 銀賞



1. タイトル：【バギーで現地調査】
2. 作品の説明：広大な牧草地を移動する際に四輪駆動バギーを利用し、牧草の管理（草刈状況）やUAV 測量の準備（対空標識の設置）を迅速に行った。
3. 撮影場所：紋別郡雄武町
4. 撮影月日：令和5年7月7日
5. 会社名：株式会社ドボク管理
6. 氏名：剣持美里

### 【撮影者コメント】

正直なところ、私たちのような未熟な者が、このような栄えある表彰を受けるなど、まったく意外なことでした。本当に嬉しく思います。今後も、素敵な写真が撮れるように精進して参ります。

## 銅賞

1. タイトル：【春の測量】
2. 作品の説明：春の訪れとともに測量開始を感じられる1枚
3. 撮影場所：北見市
4. 撮影月日：令和5年5月2日
5. 会社名：株式会社ドボク管理
6. 氏名：今野剛

### 【撮影者コメント】

銅賞をいただくことができとても嬉しいです。次回のフォトコンテストの為にも、現場には常にカメラを持ち歩くよう心がけます。次こそはグランプリを受賞したいです。





# 野菜などの無人販売所

## 無人販売所の概要

無人野菜販売所とは、店員が常駐しないで主に野菜を販売している店舗のことです。以前からある業態ですが、非接触販売やフードロスが意識されるようになった近年、注目が集まっています。

無人野菜販売所では、野菜が多く取り扱われていますが、果物、卵、花、加工食品を取り扱っていることも少なくありません。各販売所の特色が現れる部分です。

感染症対策の影響で、非接触販売・購入を希望する層が増えたこともあり、無人野菜販売所は増加傾向にあり、これまで利用したことがない人達も存在を知りようになり、興味を持ち利用したいと考える人も増えているようです。



## 無人野菜販売所のいいところ

無人野菜販売所は、農家など生産者直営なので輸送時間はほとんどなく、採りたて新鮮さが魅力です。また、一般のお店と比較すると低価格で販売されていることが多いので、フトコロにやさしい。多くは24時間いつでも利用可能になっていて、さまざまな人のライフスタイルに合わせやすいという利点もあります。

今回の取材した地域では、利用時間は日中という利用限定でした。スーパーではあまり見かけない規格外の野菜でも、おいしさには変わりませんし、フードロス対策へ手軽に参加しやすいという一面もあります。地産地消につながることも重要なことですし、地元で育てられた野菜を手軽に消費できる点は、大きな強みだといえるでしょう。

### 北見市仁頃



今年5月撮影

### 北見市小泉



昨年8月撮影

### 北見市端野



昨年7月撮影

#### 北海道新聞仁頃販売所 菅原新聞店

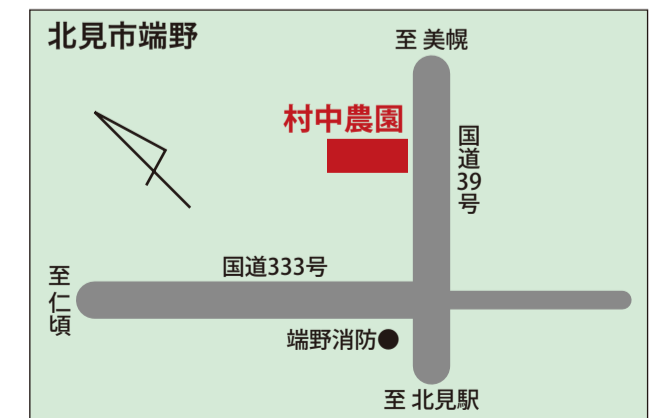
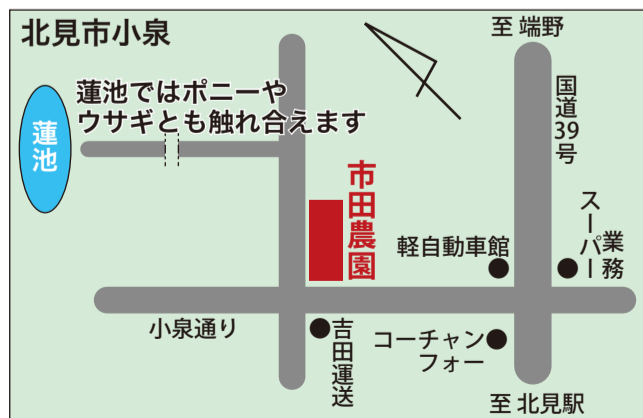
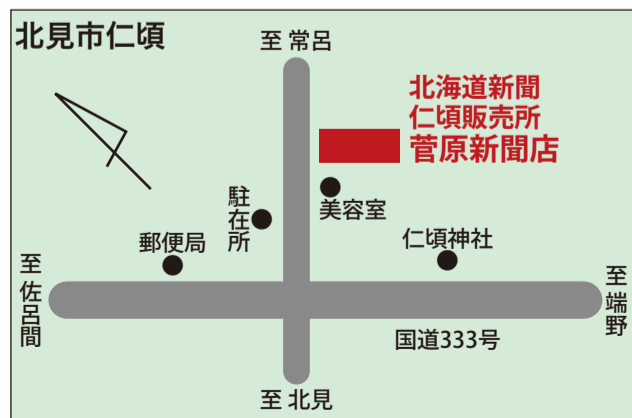
北見市仁頃(国道333号交差点そば)  
 運営者：北海道新聞仁頃販売所 菅原新聞店  
 販売品目：アスパラ、トマト、インゲン、ジャガイモ、サツマイモ等(5月中旬～11月上旬)  
 販売価格：80g～100g/100円～  
 購入代金は、代金箱に入れるセルフスタイル  
 その他：基本的に無農薬。特にサツマイモの評判が良い。自家製のカゴも販売しています。

#### 市田農園 (トマトの看板)

北見市小泉(東8号線沿い 軽自動車館の交差点を左折)  
 運営者：市田農園  
 販売品目：トマト等(経営者が高齢のため年々縮小)  
 (5月下旬～9月下旬/時間：8:30～売切れまで)  
 販売価格：トマト400g/200円  
 購入代金は、代金箱に入れるセルフスタイル  
 その他：近隣にある自己所有の蓮池が、観光地になっている。

#### 村中農園 無人販売所

北見市端野二区(国道39号沿い)  
 運営者：村中農園  
 販売品目：玉ねぎ、メロン、スイカ、トマト等  
 (8月～11月上旬/時間：8:00～16:30)  
 販売価格：フルーツ500円～、玉ねぎ10kg/1000円  
 購入代金は、代金箱に入れるセルフスタイル  
 その他：お米(ななつぼし)も販売しています。



### 編集後記

◎個人的にとってもお世話になったのは、ご近所だった「トマト」の看板のある市田農園無人販売所です。店はそう小さくなく、いつもいつも豊富な量とはいえませんが、新鮮でおいしく、安くて財布にやさしい、スーパーやコンビニより近い、家計の友でした。趣味でランニングをしているので、車移動では気が付きにくい、幹線ではない路線沿線の目立たないところにある店など見つけ出し、楽しませていただいています。(ドカン編集長：豊原 元)

今回の取材にご協力頂いた関係者の皆様方にお礼を申し上げますと共に、紙面の都合上満足な内容をお届けできず、お詫びを申し上げます。ここで紹介できなかったものは弊社HPに順次掲載予定です。https://www.dobokukanri.co.jp/ ●誌面の情報は当社職員が独自に取材したものです。発行責任者：上村幸司(専務取締役)、編集長：豊原 元(札幌支店) 制作：ドボク管理 地域情報誌編集室(〒090-0837 北見市中央三輪8丁目16番地7 TEL.0157-36-2233 FAX.0157-36-2220)